



うさぎ着 牛河内サロン

なごみ通信第5号発行によせて

師走を迎えあちらこちらから初雪の便りが届くようになりました。皆さまにおかれましては何事もお変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。

私どもサロン「真こころ」は活動開始から丸4年を経過した訳ですが、住人の方々の再建の進捗状況を踏まえ、今般一つの区切りとして角川原及び牛河内第一の両サロンを閉所いたしました。開設中は何かとお世話いただきました事にあらためて感謝申し上げます。さて、南相馬市まち・ひと・しごと

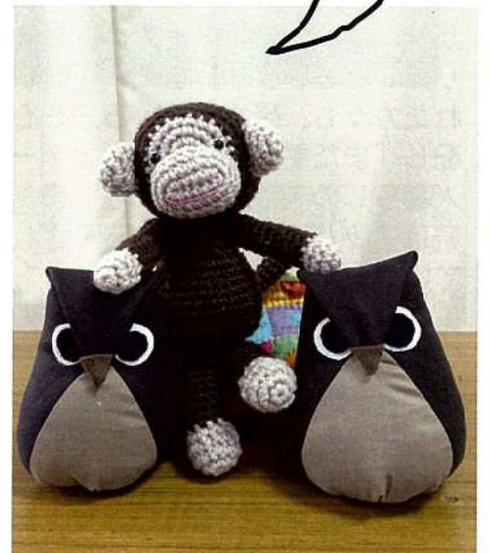
と創生総合戦略(素案)の中に、「地域の絆づくりと安心生活の再生」という基本目標が掲げられております。震災や原発事故後の人口減により、弱体化した地域コミュニティを再生するというものです。それを実現すべく市民活動の活性化並びに地域主体のまちづくりを推進して、地域の絆の強化を推し量るというものです。正に我々が続けてきた活動と合致する思いです。

仮設住宅から災害公営住宅などへ転居しますと、新しいコミュニティの再構築が起こり得ます。今後市内には復興公営住宅が900世帯以上整備されます。更なる活動の場、新たな展開も視野に入れて、新生「真こころ」を模索しているところです。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

寒さはこれからが本番です。皆さまご自愛ください。

真こころ代表 内田 雅人

2015年もご支援ありがとうございました！
来年は申年。
皆さんにとって、幸せな一年になりますように。
どうぞよい新年をお迎えください！





寺内第一サロンにつどうみなさん

もう12月、また新たな年がきます。真こころのサロン活動も早いもので4年4カ月になります。振りかえればあっと言う間でした。

震災で気持ちが塞いでしまった方々が、外に出る事、笑う事を一時は無くしたものの、今は明るく前向きになられました。

笑顔になることが、私たち『真こころ』の目指したものでした。

現在の『真こころ』の活動は、今後の新たな生活を、より自分らしく出来るだけ楽しく暮らして欲しいと願いを込めた活動に重点を置いています。

殆どの方が再建を果たし、サロンの必要性を考えた時、いまだ仮設に残された方が『また自分を取り残されてしまった』と感じる事が無いよう、最後の一人まで見守りたいと思います。また、再建された方々も、残されている方を心配し「まだ閉所しないでしょ？一人暮らしの人は心配だから、まだ続けてあげてね。」と、心配されています。

実際、不安から体調を崩す方もいます。そんな方に、再建されても心配で顔を見に来られ声を掛けてくれる方々はある意味被災者であってもボランティアです。

また残されている方にとっても

支えになっています。

いつもサロンに来る方が来なければ、体調の心配をしたりと、一つの家族の様な繋がりが出来ました。寺内第一仮設住宅にお住いの方の再建計画は進んでいます。この方々が大丈夫！と思えるまで、もう少しサポート出来ればと思います。

『真こころ』は今後、災害公営住宅での活動を考えています。

まだ、いつ、どこで、は決まっていませんが、必要ならと考えています。

災害公営住宅も、仮設住宅ができた時と感覚が似ています。

同じ集落で生活していた人が、同じ仮設住宅に入れた訳では無いのと同じで、同じ仮設住宅に居た方が、そのまま同じ災害公営住宅に入るわけではありません。

やっと慣れた暮らしから、また慣れない集合住宅暮らしになる方もいます。

災害公営住宅は戸建て、3階建て、5階建てといろいろな形があります、その時の状況で入居は決めるものの、実際に入居する時が来ると、気持ちが変わる方もいる様です。

それは、また新しい場所でうまくやっていけるか不安になるのでしょうか。

自分の先は自分で考え自分で決めますが、気持ちが付いていけない方が居るのが現状です。それでも知り合いが居れば、話し相手が居れば、相談できる人が居ればと思います。そして、そんな気持ちに寄り添える活動を、今後出来ればと考えています。

どの様な状況でも『取り残される』と感じる事は、とても辛い事だと思います。

震災で生活が一変し、日常が変わってしまった事を受け入れる事もやっとできた時、また慣れない生活を始めなければならない。

震災から何年経っても、感じる孤独感を少しでも減らせるよう、これからも被災者に寄り添う活動に携われる事を、ご支援頂いた皆さまに感謝致します。

松野みき子



あの日、あの時、想像のつかない大きな地震、津波、原発事故が起きてしました。

我が家は3人無事でした。

一瞬にして生活のリズムが変わり、身一つで仮設住宅への入居。

私と夫、そして体の不自由な義兄との3人での生活が始まりました。

3人で住むにはとても狭く、台所と寝室が一緒になっているよう。慣れない生活で睡眠不足の毎日と先の見えない生活に苛立ちを感じストレスの毎日でした。

そんな時に集会所に『真こころサロン』が開設し支援の窓口になり全国、外国からの支援を受け、沢山のボランティアの方々がいらして、心のケアに来て下さいました。感謝の気持ちでいっぱいでした。

サロンのスタッフの方も同じ境遇の人達です。でもいつも笑顔で

迎えて下さいます。サロンでの沢山の人達との交流と絆が生まれ毎日の生活の苦痛も薄れ前向きに進む事が出来るようになりました。

おかげさまで今年の6月、元の地区の集団移転の仲間入りをし、家を建て引っ越しする事が出来ました。

義兄は度重なる避難生活で体が思うように動かなくなり、介護施設に入居しました。高齢者夫婦の第二のスタートが始まりました。生活は始まったもののまだ住み慣れないせいか戸惑いと置き忘れの戦いです。

そんな生活ではありますが、1日1日を大切に生きて行こうと心掛けています。

過ぎ去った日を思い浮かべ仮設の人達との出会いがいかに楽しかったかを感じています。

時間が有る時には、サロンに遊びに行き、皆さんからの元気を頂

きます。いつもサロンの皆さんは笑顔で迎えてくれます。本当に嬉しく思います。「心の楽園」改めて感謝申し上げます。

また、ご支援下さいました全国の皆様に改めてありがとうございますの感謝を申し上げます。

南相馬市 原町区萱浜地区
山本 フミ子



震災後4年以上経っても支援に訪れてくださる方々 (オカリナグループ・寺内第一サロン)

ご支援いただいた方々

2015年6月～2015年10月 (順不同、敬称略)

(個人) 池田真喜子、岩井慶子、石川真紀代、市川浩一、市川益子、遠藤湖舟、小倉真智子、大塚恭子、桶屋理恵子、重田秀夫、北尾哲子、北濱純子、木村得夫、澤美由紀、庄司淳子、杉本公子、外山経子、中島紘子、長瀬三千子、中村信義、中村正敬、榎崎知行、シスター早川節子、高井スマ子、田端、津村はるみ、平岡宏子、深瀬剛男、福岡享子、細見新市、松岡彰、丸山真智子、宮坂佳子、宮崎直子、山川晃子、吉田ミサエ、村上功子、山本順三、須賀えり子、小倉真智子、小笠原優、小沢京子、高野郁子

(団体等) カトリック磐田教会、カトリック金沢教会、カトリック菊名教会、カトリック唐崎教会 社会活動部、カトリック西院教会、カトリック鷺ノ宮教会、カトリック逗子教会、カトリック垂水教会、カトリック垂水教会コールポップ、カトリック鷹取教会、カトリック田園調布教会、カトリック鳥取教会 (野寄一夫)、カトリック新潟教会 総務部、カトリック西千葉教会 (間野)、カトリック平針教会、カトリック福山教会、カトリック藤枝教会 (小林進次郎)、カトリック藤ヶ丘教会、カトリック原町教会 (狩浦神父)、カトリック原町教会コンコルディア、カトリック雪ノ下教会、アズマ工業、イオスコオペレーション (石川雄志)、カネケンフルーツ (中川憲義・和代)、えんどう豆 (石川悦子)、高崎友の会、カトリック学園 愛児幼稚園、城星学園中学・高等学校 (喜多晃子)、八事聖霊幼稚園、レジーナ幼稚園、宇都宮海星女子学院、神戸海星女子学院 38 回生 (西野啓子)、神戸海星女子学院中・高有志 (代表 助友信子)、聖カピタニオ女子高等学校、イエスのカリタス修道女会、シャルトル聖パウロ修道女会、聖心会小林修道院、聖マリアの汚れなき御心のフランシスコ姉妹会、聖ヨゼフ会園田修道院 (北濱純子)、聖霊奉侍布教修道所女会、長崎純心聖母会、カトリック社会活動神戸センター、カトリック東京ボランティアセンター、さくさくライブ (代表者 萩原宗弘)、熊本ジェーンズワイズメンスクラブ、東京ピューティーターチーム、東北復興を支援する会 (丸山)、未来・連福プロジェクト事務局、カトリックサレジオ修道会、リリーの会 早川郁子

私が真こころスタッフとして担当していた、牛河内第一仮設住宅集会所での和みサロンは、今年の9月末日で4年間の活動を終えました。

編み物やパッチワークなど住民の方たちと一緒に過ごした楽しい日々が思い出されます。

昨年頃から、住宅再建や災害公営住宅への入居が進み、仮設住宅を出て行く方が増え始めました。それでもサロンに顔を出される方がいたので、以前と変わらない雰囲気のままでした。

いざ閉所が決まり、それを伝えた時の住民の方たちの寂しそうな顔を忘れられません。ほんとは私

がいちばん寂しかったのかも知れません。

今は牛河内サロンに来られていた方たちの元気に生活している姿を想像しながら、寺内第一サロンでお手伝いをしています。

そして、牛河内第一サロンに来ていた方も、私が寺内第一サロンにスタッフとして活動しているので、変わらず遊びに来てくれる方もいます。

これからも、みんなが笑顔で元気になるようにと願っています。そして、この活動がもう大丈夫！になるまで続けて行ければと思います。

これからも応援、よろしくお願いいたします。

佐藤 久絵



真こころの「あゆみ」と「これから」

2011年8月13日、真こころサロン第一号を寺内第一仮設住宅集会所に開設

鹿島区、原町区、小高区の旧1市2町の住人の方々が混在した仮設住宅で、地震・津波により被災された方々が多く入居された仮設住宅でした。現在は、原発事故により避難を余儀なくされた方々が入居されています。

2011年9月13日、真こころサロン第二号を牛河内第一応急仮設住宅集会所に開設

この仮設住宅の住民の方々の大半は、地震と津波により被災された方々です。第一から第四まである大規模な住宅で、近くに学校もあることから子ども達がいる家族が優先的に入りました。そのため、比較的若い世帯が多く住み、住居を再建し早く仮設を出られる方も多い住宅です。

2011年10月13日、真こころサロン第三号を角川原応急仮設住宅集会所に開設

相馬市に近く、他のサロンがある仮設住宅から離れた場所に位置する仮設住宅です。住民は、津波により被災された方と、原発事故により帰宅できない小高区の方々が住む住宅です。

2015年9月15日、角川原サロン活動を終了

小高区の避難指示解除準備区域及び居住制限区域の解除を来年に控え、また津波被災者も住居再建が進み、それぞれが動き出しました。当初の目的である『和』を作り、異なる境遇の方々と『繋ぐ』事もでき、目的を達成することができました。

2015年9月30日、牛河内第一サロン活動を終了

復興公営住宅の整備も進み、移られた方や住宅を再建された方も多く、今が活動を終了する時期だと判断しました。

寺内第一サロン真こころは活動を継続いたします。そして『真こころ』の活動は仮設住宅だけではなく、『必要な場所に必要な事を』提供するためこれからも活動を広げて行くつもりです。皆様の応援を引き続きよろしくお願いいたします。

2015年度会計報告

(2015年1月1日～11月30日)

(単位:円)

収入の部	金額	備考
受取寄付金	3,596,724	
受取助成金	0	
その他収益	12,214	
前期繰越	4,146,763	
収入計	7,755,701	

支出の部	金額	備考
寺内サロン	2,070,394	
牛河内サロン	1,531,776	
角川原サロン	1,462,209	
運営費	160,596	
支出計	5,224,975	
収支差額	2,530,726	次月繰越

あたたかいご支援ありがとうございます。

真こころ なごみ通信 Vol. 5

2015年12月20日発行

和みサロン真こころ

発行責任者：内田雅人

〒972-2333

福島県南相馬市鹿島区寺内字前田96

TEL: 070-6951-2200

E-Mail: matuno100100@yahoo.co.jp

WEB: <http://salonmakokoro.wix.com/index>

真こころをご支援ください

郵便振替口座：02290-0-136053

加入者名：真こころ